

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第3部会

区分	内容
テーマ・事業名	鳥屋野潟の認知度向上に向けた取組内容の検討
事業目的・概要	鳥屋野潟は知名度はあるものの、市民の理解や認知度が十分とはいえない状況にある。令和8年秋に中央区にて開催予定の「世界湿地都市ネットワーク市長会議」や本市のラムサール条約湿地自治体認証を踏まえ、鳥屋野潟への関心を高めることを事業目的とした。 令和7年度は、現地視察や関係機関からの説明聴取を行い、課題整理と今後の方向性について協議した。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【令和7年度実施事項】 ・中央区内の「水辺・緑地」の現地視察、関係機関からの説明聴取、課題の洗い出し ・庁内関係機関を招いた勉強会の実施 ・新潟県等が実施する「鳥屋野潟湖岸堤周辺整備事業」についての勉強(資料確認)
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	○第3部会は、地域コミュニティ協議会、第3部会の所管分野である「水辺・緑化」の専門分野に関わる団体等から選出された委員で構成されている。 ○中央区には、鳥屋野潟や信濃川、西海岸公園等、多くの「水辺・緑地」があるため、まずは関係機関から説明を受けながら現地視察を行い、課題の洗い出しを行った。 ○庁内関係機関(ラムサール条約都市推進プロジェクト・チーム)との勉強会により、「国際湿地都市NIIGATA」及び世界湿地都市ネットワーク市長会議開催に向けた取組内容を把握した。 ○現地視察や勉強会を通して、水辺空間の現状や課題を委員間で共有し、特に「鳥屋野潟に関して知名度はあるが認知度が十分でない」という課題を整理することができた。 ○鳥屋野潟の認知度向上に向けた取組として、鳥屋野潟を取り扱っている団体等の活動紹介や鳥屋野潟を身近に感じられる方策など、鳥屋野潟に関心のない市民にも目にとめてもらえるようなイベント実施を検討した。 ○今後は、検討した取組案の具体化を図るとともに、中央区での世界湿地都市ネットワーク市長会議開催も見据え、実効性のある認知度向上策へと発展させていく必要がある。
備考	